

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。
国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

発行：ひたちなか市都市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

内水ハザードマップを活用した水防災に関する授業が行われました 《外野小学校 楽しい理科クラブ》



令和8年9月29日、外野小学校のクラブ活動「楽しい理科クラブ」で内水ハザードマップを活用した水防災に関する授業が行われました。講師は茨城大学工学部防災・環境地盤工学研究室特任研究員 齋藤博士です。授業では、大雨が降ると街ではどういったことが起こるのか大雨災害の映像を見ながら意見を出し合ったり、実際に市の内水ハザードマップを開き、地図の見方や自宅の場所などを探したりしました。

児童たちは内水ハザードマップを真剣に見つめ、小学校からの通学路を辿ったり公園などの目印を見つけたりしながら自宅の場所を探し、友達と話し合いながら学習しました。

←今年9月に発生した他県での大雨の映像を解説する齋藤博士



↑どうやってみたらいいの？
市職員にハザードマップの見方を教えてもらいます。

↑「学校がここにあるからこっちに行って・・・」
友達と話し合いながらマップを見つめます。

頻発化する大雨災害に備えて 内水ハザードマップをご確認ください

ハザードマップでは、避難所の位置やマイ・タイムライン（避難行動の予定表）、非常持ち出し品リストなど、もしもの時に役立つ情報を掲載しています。

ハザードマップは市役所・支所で配布しているほか、市ホームページでも公表していますのでご覧ください。



↑にげるんジャー
(流域治水レンジャー：茨城県)

→ひたちなか市

内水ハザードマップ（全4地区）


 ひたちなか市


 北東版
内水ハザードマップ

ハザードマップについて

近年の月極大雨等により、浸水被害の発生が想定される範囲や避難場所などの情報を提供するとともに、防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくために「ひたちなか市内水ハザードマップ」を作成しました。

この内水ハザードマップは、国土交通省が公表している開閉地帯想定最大降雨量である特異雨量153mmを想定して、その浸水範囲と深さを示したものです。浸水範囲と深さは、地盤の調査データを使用し、浸水シミュレーションにより決定しています。

想定される浸水は、雨の降り方によって拡大する場合があります（表示のない場所）でも浸水が発生する場合があります。

気象情報や近辺の状況に注意し、日頃の準備・心構えとしてご利用ください。

想定最大規模降雨153mm/hr

この地区の表示範囲



作ってみよう！マイ・マップ

- 自分の家から避難所までの道のりを書き入れて「マイ・マップ」を作成しよう。
- 避難所の近く、浸水や土砂災害等被害に及ぶ恐れのある場所や避難所と避難経路を確かめよう。
- 「マイ・タイムライン」と合わせて自分たちのハザードマップを確認しよう。
- 避難経路や大雨が降りそうな地域には、家族したで「マイ・マップ」に「マイ・タイムライン」を付けて避難しよう。

市ホームページ
こちら



内水のほか、各種ハザードマップをお知らせしています。QRコードをスキャンして表示してください。

那珂川改修期成同盟会の中央要望を行いました

10月1日に、那珂川改修期成同盟会令和8年度中央要望を行いました。同盟会の6市町の代表者が、地元選出の国会議員の方々に同行していただき、国土交通省と財務省へ那珂川における河川改修の推進や十分な予算の確保等を求めた要望書を提出しました。※写真は要望活動日程順



国土交通省 高橋大臣政務官（写真左）へ要望



（写真左から）上月参議院議員、田所衆議院議員、大谷ひたちなか市長、高橋水戸市長、国土交通省 塩見事務次官、先崎那珂市長、國井大洗町長、西條衆議院議員、加藤参議院議員



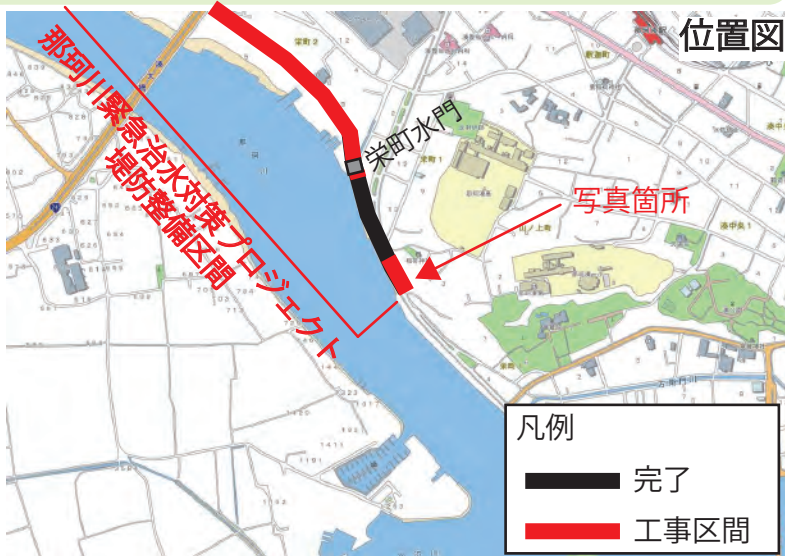
（写真左から）上月参議院議員、石川衆議院議員、先崎那珂市長、高橋水戸市長、片山財務大臣、大谷ひたちなか市長、國井大洗町長、田所衆議院議員、加藤参議院議員



片山財務大臣へひたちなか市の要望について説明する大谷市長

那珂川緊急治水対策プロジェクト 工事進捗のお知らせ（栄町地区）

前回お知らせしました、那珂川緊急治水対策プロジェクトによる堤防整備工事について、栄町地区では擁壁の設置工事が始まりました。この箇所には、坂路も併せて設置される予定です。現在、各地区で工事が始まった段階です。今後も進捗状況を随時お知らせしてまいります。



←堤防計画高に合わせて設置されるL型擁壁



シールド機が到達しました《大島第2幹線管きょ布設工事》

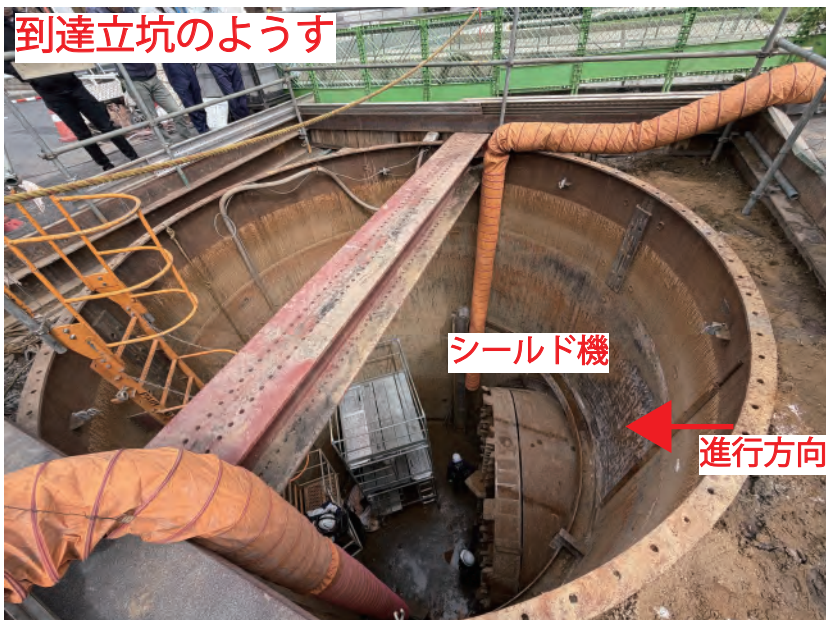
令和8年2月にシールド機の発進式を行った大島第2幹線管きょ布設工事について、泥土圧シールド工法で502.5mの距離を約8か月かけて掘削し、令和8年9月17日に到達立坑に到達しました。

今後は既存水路の取り込みやマンホールの設置などを行ってまいります。住民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、引き続きご協力をおねがいいたします。



↑到達したシールド機。直径3.78mあり、特急ひたち号よりやや小さい程度です。※ひたち号は高さが約4mあります。役目を終えたシールド機は内部の機械類を解体し、外殻は雨水管の一部として利用されます。

到達立坑の様子



↑到達立坑は直径5m、深さが8.2mあります。今後は、既存水路からの水の取り込み口の整備やマンホールの設置などを行っていきます。

第34回地球環境シンポジウム優秀ポスター発表賞を受賞 (松熊優依さん
茨城県立日立第一高等学校附属中学校)

令和8年9月に、茨城大学日立キャンパスにおいて「第34回地球環境シンポジウム」が開催され、本市をフィールドに防災・治水研究を進めている松熊優依さんが地球環境シンポジウム優秀ポスター賞を受賞しました。10月16日に市長、副市長へ受賞報告と研究の説明を行いました。

研究テーマ「簡易内水ハザードマップ作製のための各種測量精度の検討」とはどんな研究でしょう？

- 自治体が発行するハザードマップは地形図をもとに作製しているが、宅地造成など地形が変化しても予算等の都合により頻繁な改訂は困難な状況であります。
- ドローンを活用した測量法により安価かつ更新が容易な方法確立することで、自分で判断して避難するための「マイハザードマップ」の作製へ活用できないか研究しています。



↑(左から) 大谷市長、松熊さん、
前茨城大学 齋藤博士



↑市長に研究内容の説明を行う松熊さん。



↑(左から) 前茨城大学 齋藤博士、
松熊さん、吉富副市長



↑副市長に研究内容の説明を行う松熊さん。

ひたちなか市都市建設部河川課

那珂川緊急治水対策推進室

〒312-8501

ひたちなか市東石川2丁目10番1号

TEL 029-273-1478 (直通)

「ひたちなか治水だより」は不定期更新で
ひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも
治水に関する情報を公開しています。
アクセスはこちら→

